

【専門基礎分野】

科目名	病理学総論	講師名	岡山医療センター医師 (5) 非常勤講師 (10)	学 年	1	履 修 期	第1学期
単 位	1単位						
時間数	15時間						
授業概要	<p>病気の本態 (病因) と、成り立つ機序 (病理発生) について理解を深めることにより、種々の疾病をもたらす身体や細胞の変化について理解する。「細胞や組織に生じる変化」として、①炎症、②循環障害、③退行性病変 (変性、萎縮、壊死)、④進行性病変 (肥大と過形成、化生、再生)、⑤腫瘍について、また、「異常状態に影響する個体の条件」として、①免疫、②先天異常、③代謝異常について概説する。</p>						
授業科目目標	<p>1. 疾病によって形態や機能代謝の異常がどのように生じるかについて理解できる。</p>						
授業計画	<p>1回：病理学とは  1) 病理検査について  2) 病因論  2回：先天異常  1) 先天異常とは  2) 遺伝性疾患と染色体異常  3回：代謝障害：進行性病変および退行性病変を含む  1) 萎縮、肥大と過形成、壊死  2) 代謝障害と細胞の変化 (物質沈着)  3) 代謝障害と疾患  4回：循環障害  1) 循環器の概要  2) 局所の循環障害  3) 全身の循環障害  4) リンパの循環障害  5回：炎症と免疫、膠原病  1) 炎症の定義、原因と経過  2) 創傷治癒と炎症の治療  3) 炎症の各型  4) 免疫 (宿主の防御機能)  5) アレルギーと膠原病  6回：感染症  1) 感染と発病  2) 主な感染症  7回：腫瘍  1) 腫瘍の定義と分類  2) 腫瘍の発生病理  3) 腫瘍の転移と進行度  4) 腫瘍の統計  8回：終了試験</p>						
評価方法	筆記試験						
テキスト	1. 系統看護学講座 専門基礎 疾病の成り立ちと回復の促進 [1] 病理学, 医学書院.						
学生へのメッセージ	<p>スライド、配布資料 (プリント) を用いて授業を行う。  講義時間に対して内容が多いので、適宜、復習や国家試験対策問題のためのプリントを配布する。  【関連科目】解剖生理学Ⅰ～Ⅱ、生化学</p>						